

International Workshop
on Information Systems
for Social Innovation 2009
社会イノベーションを誘発する
情報システムに関する
国際ワークショップ

2009年
9月30日
10:00-18:00

参加費無料

日英同時通訳付

お申し込みは WEB で

ISSI
2009

- 主催：国立情報学研究所
- 共催：フライブルグ大学、ウィーン工科大学
- 日時：2009年9月30日(※) 10:00-18:00
- 場所：一橋記念講堂 学術総合センター2階

情報から知を紡ぎます。

NII
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所

www.nii.ac.jp/issi/

一橋記念講堂

時間

10:00-10:15

開会挨拶

東倉洋一（国立情報学研究所 副所長）
Hans-Joachim Daerr（駐日ドイツ連邦共和国大使）

10:15-10:45

長尾真（国立国会図書館長）：相互理解が最良の安全保障

10:45-11:15

Thomas Mück（ウィーン工科大学 教授）：Security and Privacy Issues in the Austrian "Patient Record" Project ELGA

11:15-11:45

Gerhard Schneider（フライブルク大学教授CIO）
：Security for Society - Is any Technological Possibility a Desirable Solution for Democracy?

11:45-13:00

昼食

13:00-13:30

Hana Pecháčková（欧州委員会）：Privacy and protection of personal data in the EU, transfers of personal data to third countries

13:30-14:00

岡本龍明（NTT情報流通プラットフォーム研究所 特別研究室長）
：情報セキュリティが拓くネット社会の未来

14:00-14:20

前田章（日立製作所システム開発研究所 所長）
：実世界とITの融合による知識創発インフラストラクチャ

14:20-14:40

安西祐一郎（国立情報学研究所 顧問、前慶應義塾 塾長）
：地球規模の知識共有と教育機関の役割

14:40-14:50

Iris Wiecezorek（ドイツ研究協会東京事務所 代表）
：International Research Cooperation - Chances and Challenges

14:50-15:20

休憩

15:20-16:40

研究紹介

渡辺克也（国立情報学研究所 客員教授・総務省総合通信基盤局電波政策課長）
：i-Japan & ICT Trust

Helmut Prendinger（国立情報学研究所 准教授）
：Global Lab（グローバルラボ）：3Dインターネットに基づいた参加型科学の基盤

竹村敏彦（関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構助教）
：情報セキュリティに対する経済学的接近

Johannes Heurix（オーストリア・セキュアビジネスセンター研究員）
：(a) Database Forensics (b) Pseudonymization of Health Data

越前功（国立情報学研究所 准教授）
：Research on Re-shooting Countermeasures

Sven Wohlgemuth（国立情報学研究所 研究員）：Privacy in eHealth

16:40-17:50

パネルディスカッション「社会と調和する科学技術」

議長：林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学 学長）
モデレータ：越前功（国立情報学研究所 准教授）

- ・Gerhard Schneider（フライブルク大学CIO）
- ・Thomas Mück（ウィーン工科大学 教授）
- ・Hana Pecháčková（欧州委員会）
- ・岡部寿男（京都大学学術情報メディアセンター教授）
- ・岡本龍明（NTT情報流通プラットフォーム研究所 特別研究室長）
- ・野村雅行（日本情報通信株式会社代表取締役社長）
- ・Peter Mertens（シーメンス株式会社ゼネラルマネージャー）
- ・持田侑宏（フランステレコム株式会社 CTO）

17:50-18:00

まとめ

坂内正夫（国立情報学研究所長）

お申し込み

参加を希望される方は、ISSIのウェブページ「お申し込み」よりお申し込みください。



<http://www.nii.ac.jp/issi/>

運営委員メンバー

国立情報学研究所（日本）：曽根原登教授、越前功准教授、Sven Wohlgemuth博士
フライブルク大学（ドイツ）：Günter Müller教授
ウィーン工科大学（オーストリア）：A Min Tjoa教授

お問い合わせ

国立情報学研究所 企画推進本部 企画チーム

kikaku@nii.ac.jp <http://www.nii.ac.jp>
Tel:03-4212-2165 Fax:03-4212-2150

本ワークショップではコンプライアンス、プライバシー、IT リスクマネジメント、情報セキュリティに関わる安全・安心の問題をヨーロッパおよび日本の研究機関で議論することを目的に、国立情報学研究所と国際交流協定を締結している海外研究機関と、標記「社会イノベーションを誘発する情報システムに関する国際ワークショップ」を開催します。

テーマ

コンプライアンス、プライバシー、IT リスクマネジメント、情報セキュリティ

10:00-16:50

2階廊下

1. プライバシー、データ、メディアのセキュリティ技術

越前功（NII准教授）：Research on Re-shooting Countermeasures
Nurul Huda（NII外来研究員）：Extending Usability of Personal Health Records
片岡浩巳・畠山豊・奥原義保・倉本秋（高知大学医学部付属病院）：Medical data analysis infrastructure
Sven Wohlgemuth（NII研究員）：Privacy in e-Health
Johannes Heurix（オーストリア・セキュアビジネスセンター研究員）：Pseudonymization of Health Data

2. e-Science, CSI(Cyber Science Infrastructure) 研究教育情報基盤

山田茂樹（NII教授）：学術情報ネットワーク SINET3
山地一禎（NII准教授）：学術認証フェデレーションの現状
合田憲人（NII教授）：日本における学術グリッド基盤
中村素典（NII教授）：アカデミック・クラウド・サービス・コンピューティング
山川仁子・板橋秀一（NII音声メディアグループ）：学術研究のための音声資源とその利用
Helmut Prendinger（NII准教授）：3Dインターネットに基づいた参加型科学の基盤

3. ITリスク管理

藤井陽介・逸見昌之・藤田利治（統計数理研究所）：臨床試験における療法間の統計的交互作用の評価
藤井孝之・影山正幸・蒲生昌志・金藤浩司・椿広計（統計数理研究所、産業技術総合研究所）：化学物質のリスクトレードオフ解析
梶山朋子（早稲田大学人間科学部助手）：子どもの情報分析力強化を支援する楽しいWeb特性学習システムの開発
庄司勇木（総合研究大学院大学）：ブロードバンド・インフラ整備における投資リスクと公共政策

4. セキュリティと社会

Gerhard Schneider（フライブルク大学教授CIO）：Security and Society bridging the gap between humanities and technical sciences
竹村敏彦（関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構助教）：情報セキュリティに対する経済学的接近

5. その他

日本学術振興会 ドイツ研究協会東京事務所 欧州委員会
シーメンス株式会社 フランステレコム株式会社

日時

2009年9月30日(水) 10:00-18:00

場所

学術総合センター2階(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

交通：●東京メトロ半蔵門線都営地下鉄新宿線・三田線「神保町」駅…（A8出口）
●東京メトロ東西線「竹橋」駅…（1b出口）徒歩3分
※お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

参加費無料

日英同時通訳付

